

和歌山大学

岸和田サテライト



浪切ホールで和歌山大学および大学院の講義が受けられます。

社会人受講生募集案内

大学院科目等履修生・学部開放授業聴講生

平成22年度(前期)

目 次

• 和歌山大学岸和田サテライト	1
• 岸和田サテライトの単位認定システム	2
• お知らせ～大学院科目等履修生の履修可能期限について～	3
• <u>大学院 科目等履修生の募集について</u>	4
• 平成22年度 前期 岸和田サテライト大学院授業科目	6
• 新規受講希望者の皆さまへ	11
• 新規科目等履修生用・岸和田サテライト大学院科目等履修生願書(用紙㊦)	12
• 新規科目等履修生用・履歴書(用紙㊧)	13
• 新規科目等履修生用・平成22年度入学検定料の納入について(用紙㊨)	14
• 履修可能期間中の科目等履修生用・履修願(科目等履修生)(用紙㊩)	15
• <u>学部 学部開放授業聴講生の募集について</u>	16
• 平成22年度 前期 岸和田サテライト学部授業科目	18
• 新規聴講希望者の皆さまへ	19
• 新規聴講生用・学部開放授業受講者登録申請書・聴講申請書(用紙㊰)	20
• 登録期間中の聴講生用・学部開放授業申請書<開放授業登録済者用>(用紙㊱)	21
• 平成22年度開放授業の登録料・聴講料の納入について(用紙㊲)	22
• 授業担当教員プロフィール	23

和歌山大学岸和田サテライト

和歌山大学は、岸和田市と連携して、岸和田市立浪切ホールに「和歌山大学岸和田サテライト」を平成18年4月に開設しました。

同サテライトでは、和歌山大学の保有する高等教育機能を活用し、社会人としてのスキルアップを目的とした科目や地域のニーズに即した科目を開講しています。

講義風景



事務室(2F)

受講生の皆さんは、
真剣に講義を受けられています。



さまざまなニーズに応える諸施設 浪切ホールにて 快適に講義を受けることができます。
約10~20名の少人数制で先生との距離も近く、ディスカッションしながら楽しく学べます。

フィールドワーク講義風景



和歌山大学岸和田サテライトは、大学の研究・教育機能を活用して地域づくりに貢献する、大学の地域ステーションをめざしています



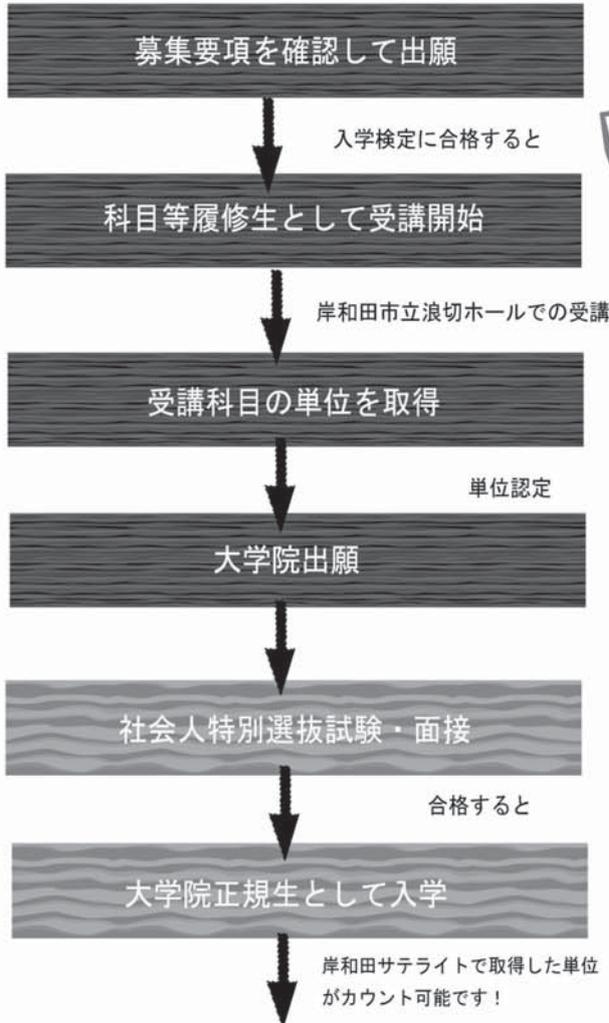
浪切ホールでの講義にとどまらず、実際フィールドへ出て体感することで学習の理解も深まります。



パンフレットスタンド(1F)

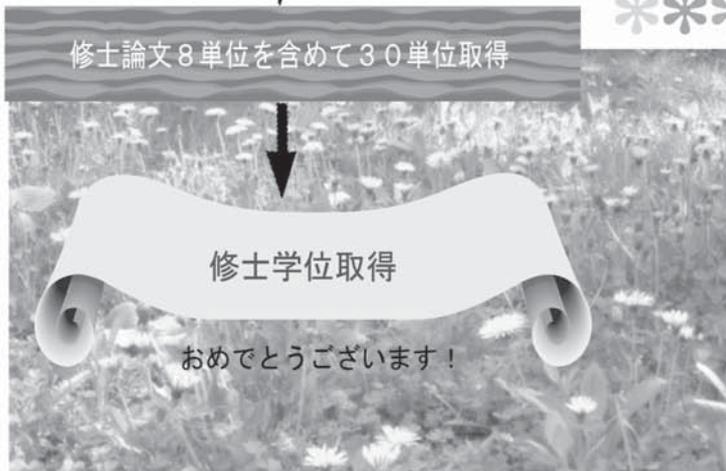
岸和田サテライトの単位認定システム

受講希望者は出願後の入学検定の審査に合格すると科目等履修生になり授業を受講することが出来ます。
 受講後、合格評価を得ると単位を取得することが出来、取得した単位は本学の大学院に入学した際に、
 同じ専門分野であればすでに取得した単位として認められます。



科目等履修生とは
 社会人などで、大学院の授業を受けたい人に対して選考の
 うえ科目等履修生として入学し授業を受講していただく制度
 です。受講後の成績が合格であった人については単位取得証
 明書を発行します。

大学院正規生とは
 出願できるのは、大学を卒業した人や学士の学位を持って
 いる人などです。入学試験は研究報告書などの出願書類を
 もとに面接を行い、学力や問題意識、学習意欲などを総合
 的に判断し、合格者を決定します。通常2年間で在学し、修
 士論文8単位を含む30単位を取得すれば修了出来ます。
 修了すると修士の学位が授与されます。岸和田サテライト
 の科目等履修生として取得した単位については大学院入学
 前に既に取得した単位として認定(最大18単位)された
 ものは上記30単位に含むことが出来ます。



お問い合わせ：和歌山大学経済学部教務係
 〒640-8510 和歌山県和歌山市栄谷930 (TEL, 073-457-7805)

お知らせ

～大学院 科目等履修生の履修可能期限について～

大学院 科目等履修生の履修可能期限は、入学から2年間です。

履修可能期限が2010年3月31日の方は、履修可能期限が終了しますので、受講をご希望の場合は、新規出願者として、願書・履歴書・最終学歴証明書を、お申し込み時に、改めてご提出していただき、審査を受けていただく必要があります。入学検定料・入学料も必要となります。お申し込みの際は、ご注意ください。

*履修可能期限は、科目等履修生カードに記載されています。



大学院

科目等履修生の募集について

大学院科目等履修生制度 目的・概要

社会人等で大学院授業科目の履修を希望する人に対し、選考の上、和歌山大学大学院科目等履修生として入学を許可し、受講を認める制度です。成績評価において、「合格」の評価を得た人については単位を取得したことを認定し、希望者には単位取得証明書を発行します。入学後、入学期(入学料を納めた学期)を含む連続4学期間(1年は前期4～9月・後期10月～3月の2学期)内の履修を希望する場合は、入学検定料・入学料は必要ありませんので、授業料のみで受講可能となります。

平成22年度前期開講科目

【経済学研究科】 4科目

- 『租税法総論 ―現代の税制改正の動きにもふれて―』
- 『現代家族生活と民法 ―結婚と離婚、そして遺産相続―』
- 『都市近郊農業論 ―泉州農業の過去・現在・未来―』
- 『環境・自然エネルギー革命 ―「食料・エネルギー・水の地域自給」と環境・防災街づくり―』

【教育学研究科】 1科目

- 『初等教育特論A ―いま子どもが生きる教育を―』

授業内容・開設日時等

「平成22年度 前期 岸和田サテライト大学院授業科目」参照

募集人数

各科目とも、若干名

入学資格

- (1)大学を卒業した者
 - (2)学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
- * 入学資格について不安な方は、入学検定料のお振込前に、教務課(TEL 073-457-7106)へお問い合わせください。(お振込後の返金は致しかねます。)

審査及び結果通知

提出された願書及び履歴書等で審査を行い、結果については、入学手続に関する案内でお知らせします。

入学検定料、入学科及び授業料

入学検定料 5,000円 入学科 10,000円 授業料 28,800円(1科目)

出願書類及び出願方法(新規)

新規に受講を希望する方は、願書(C票/平成22年度入学検定料振込金受付証明書貼付)及び履歴書(最終学歴証明書添付)を下記期限までに送付してください。

- 願書：『岸和田サテライト大学院科目等履修生願書』(用紙㊦)
必要事項記載、捺印、C票/平成22年度入学検定料振込金受付証明書貼付
- 履歴書：『履歴書【岸和田サテライト大学院科目等履修生用】』(用紙㊧)
必要事項記載、写真貼付、捺印、最終学歴証明書添付

出願期間

平成22年2月26日(金)～3月19日(金)必着

郵送の場合は、「岸和田サテライト出願書類在中」と封筒の表に朱書きし、「特定記録」にて送付してください。出願期間内必着とします。

* 出願締切日までに、定員に満たなかった場合は、HPにて追加募集のご案内を致します。

<http://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/class/kishiwada.html>

履修可能期間中の出願 (科目等履修生証の「履修可能期限」確認)

既に科目等履修生として履修可能期間中の方が受講を希望されるときは、上記出願期間中に「履修願(科目等履修生)」(用紙㊨)により出願してください。

入学検定料及び入学科は不要です。

(※履修可能期限が、2010年3月31日の方は、新規出願書類にてお申し込みください。

詳しくはP3「お知らせ～大学院科目等履修生の履修可能期限について～」をご覧ください。)

出願先(問い合わせ先)

和歌山大学 岸和田サテライト TEL：072-433-0875
〒596-0014 岸和田市港緑町1-1 岸和田市立「浪切ホール」2F
Email：kishiwada@center.wakayama-u.ac.jp

問い合わせ先

和歌山大学 教務課 TEL：073-457-7106 Email：kyoumuka@center.wakayama-u.ac.jp

☞ 岸和田サテライト科目等履修生は、栄谷キャンパスおよび紀南サテライトにて開講される大学院科目も履修することができます。



新規受講希望者の皆さまへ

新規に受講を希望する方は、まず、出願書類および検定料5,000円のお振込が必要となります。最寄りの銀行等にて、必ず付属の指定用紙をご使用のうえお振込ください。ATMでのお振込は不可です。お振込に伴う手数料は、受講申込者の負担とさせていただきます。なお領収書は取扱い金融機関等の振込金領収書をもって替えさせていただきます。

入学選考は、しばらくお時間をいただきますので、あらかじめご了解ください。合格となりましたら、入学金10,000円のお振込のご案内と受講科目数に応じた授業料納付書を順次送付致します。(授業料納付書の発送は、講義がスタートしてからになる場合もあります。)

入学検定料・入学料・授業料の返金は致しかねます。入学資格に不安のある方は、入学検定料のお振込前に和歌山大学教務課(073-457-7106)までご相談ください。



新規出願方法について

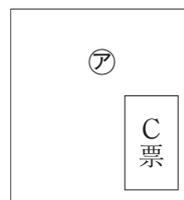
準備するもの

① 岸和田サテライト大学院科目等履修生願書(付属の用紙^ア)をお使いください。

付属の用紙^アにて入学検定料5,000円をお振込後、

C票を願書に貼付してください。

印鑑押印は抜けていませんか？



② 履歴書(付属の用紙^イ)をお使いください。

印鑑押印は抜けていませんか？

履歴書の写真は、きれいに撮れていますか？



③ 最終学歴証明書

最終出身学校の卒業証明書をご用意ください。

* 入学料・授業料お振込のご案内は、合格者に送付致します。

履修可能期間中の出願方法について

準備するもの

① 履修願(科目等履修生)

(付属の用紙^エ)にてお申し込みください。

履修可能期間中の方は、入学検定料および入学料は不要です。履修願のみご提出ください。

印鑑押印は抜けていませんか？

② 科目等履修生カードの写し

履修可能期限は科目等履修生カードに記載されています。ご確認ください。

* 授業料お振込のご案内は、後日送付致します。

(※履修可能期限が、2010年3月31日の方は、新規出願書類にてお申し込みください。

詳しくはP3「お知らせ～大学院科目等履修生の履修可能期限について～」をご覧ください。)

e

出願締切日までに、定員に満たなかった科目については、HPにて追加募集のご案内を致します。
<http://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/class/kishiwada.html>

岸和田市の花 バラ

学 部

学部開放授業聴講生の募集について

学部開放授業 目的・概要

和歌山大学では、生涯学習に対する社会的要請、また地域との連携を深めるため、大学開放の一環として、大学生が受講する通常の授業を「開放授業」として一般の方に開放する制度を平成17年4月より実施しています。

開放授業の聴講は単位認定を行いませんので、試験やレポートなどで評価し、成績を付けることはありません。一度登録していただくと、以後4年間の聴講申請が可能であり、栄谷キャンパスでの開放授業科目も聴講することができます。

岸和田サテライトでは、教養科目を開放授業として一般の方に聴講していただいております。

平成22年度前期開講科目

【学部教養科目】1科目

『地域とグローバル化 ー移民・移住、環境、言語教育ー』

授業内容・開設日時等

「H22年度 前期 岸和田サテライト学部授業科目」参照

募集人数

50名 *先着順です。

聴講資格

18才以上の者(高校生は除く) *年齢確認のみで検定等は一切ありません。

登録料および聴講料

登録料 7,000円 聴講料 10,000円(1科目)

*1回の登録で4年間の聴講申請が可能となります。

申請書類および申請方法(新規)

新規に聴講を希望する方は、申請書(C票/平成22年度登録料・聴講料振込金受付証明書貼付)により下記期限までに申請してください。

申請書：『学部開放授業受講者登録申請書・聴講申請書』(用紙㊦)

必要事項記載、写真貼付、捺印、C票/平成22年度登録料・聴講料振込金受付証明書貼付

申請期間

平成22年2月26日(金)～3月19日(金)必着

郵送の場合は、「岸和田サテライト申請書類在中」と封筒の表に朱書きし、「特定記録」にて送付してください。出願期間内必着とします。

* 出願締切日までに、定員に満たなかった場合は、HPにて追加募集のご案内を致します。

<http://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/class/kishiwada.html>

聴講可能期間中の申請 (既に聴講生として登録後4年以内の方)

既に聴講生として聴講可能期間中の方が引き続き聴講を希望される場合は、上記申請期間中に「学部開放授業聴講申請書〈開放授業登録済者用〉」(用紙㊤)により出願してください。

登録料は不要です。

申請先(問い合わせ先)

和歌山大学 岸和田サテライト TEL:072-433-0875
〒596-0014 岸和田市港緑町1-1 岸和田市立「浪切ホール」2F
Email:kishiwada@center.wakayama-u.ac.jp

問い合わせ先

和歌山大学 教務課 TEL:073-457-7106
Email:kyoumuka@center.wakayama-u.ac.jp

☞ 岸和田サテライトの聴講生も、栄谷キャンパスおよび紀南サテライトにて開講される開放授業科目を聴講することができます。

- ・学部教養科目およびお申し込みは、教務課へお問い合わせください。

TEL 073-457-7106 kyoumuka@center.wakayama-u.ac.jp

- ・紀南サテライト開講科目およびお申し込みは、紀南サテライトへお問い合わせください。

TEL 0739-23-3977 kinan@center.wakayama-u.ac.jp



新規聴講希望者の皆さまへ

新規に聴講を希望する方は、まず、申請書類および登録料・聴講料の合計17,000円のお振込が必要となります。最寄りの銀行等にて、必ず付属の指定用紙をご使用のうえお振込ください。ATMでのお振込は不可です。お振込に伴う手数料は、聴講申込者の負担とさせていただきます。なお領収書は取扱い金融機関等の振込金領収書をもって替えさせていただきます。一度登録されると4年間有効です。講義日初日が近づきましたら、教室のご案内を送付致します。

18歳以上の方ならどなたでも聴講できます。(高校生は除く)

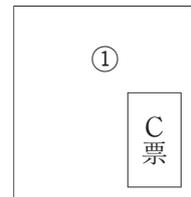
『地域とグローバル化ー移民・移住、環境、言語教育ー』に興味のある方は、ぜひ聴講してみてください。



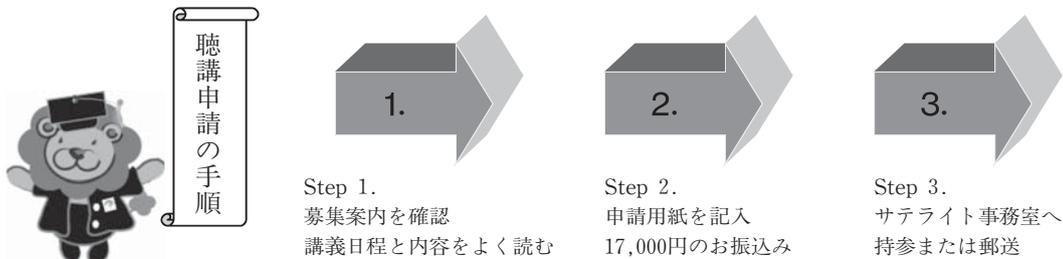
新規聴講申請について

準備するもの

- ① 学部開放授業受講者登録申請書・聴講申請書（付属の用紙①をお使い下さい。）
- 付属の用紙③にて登録料+聴講料=17,000円をお振込後、C票を申請書に貼付してください。
- 印鑑押印は抜けていませんか？
- 申請書の写真はきれいに撮れていますか？



*登録料・聴講料の返金は致しかねます。ご不明な点がございましたら岸和田サテライト事務室までお問い合わせください。



登録期間中の申請について

準備するもの

- ① 学部開放授業聴講申請書（付属の用紙③にてお申し込み下さい。）
- 登録が4年間有効ですので、期間中の登録料は不要です。申請書と聴講料のみで申請できます。
- 付属の用紙③にて、聴講料=10,000円をお振込後、C票を申請書に貼付して下さい。
- 印鑑押印は抜けていませんか？

*申請後、後日講義日案内を送付致します。聴講日にお越しください。

e

出願締切日までに、定員に満たなかった科目については、HPにて追加募集のご案内を致します。
<http://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/class/kishiwada.html>

和歌山市の花 ツツジ

授業担当教員プロフィール

(五十音順)

畦地 文晴

AZECHI Fumiharu

経済学部 市場環境学科
教授



岸和田サテライト担当科目

租税法総論

—現代の税制改正の動きにもふれて—

- 研究テーマetc. 申告納税制度の下における税務行政のあり方
- 主な授業科目
法人課税論、資産税法、消費課税論

大西 敏夫

OONISI Tosio

経済学部 経済学科
教授



岸和田サテライト担当科目

都市近郊農業論

—泉州農業の過去・現在・未来—

- 研究テーマetc. 地域農業の再生・活性化に関する研究、農地制度の役割と農地政策の展開に関する研究
農業・農村の地域性をふまえ、実証的研究を通じて地域農業の実態解明と課題の抽出を行うとともに、政策展開のあり方について研究している。また、都市と農村との共生・共存関係の構築のための政策のあり方について研究している。
- 主な授業科目
農業政策、食料経済、地域政策、地域調査研究、農業経済学

加藤 久美

KATOU Kumi

観光学部 地域再生学科
教授



岸和田サテライト担当科目

地域とグローバル化

—移民・移住、環境、言語教育—

- 研究テーマetc. 伝統産業などに見られる自然との共生、環境持続への知識、精神性。
そのドキュメント化(音、映像)
人文学博士(クイーンズランド大学)。専門は環境倫理、環境人文学。オーストラリアにて25年間教育に携わる。外国語教師教育、異文化間コミュニケーション教育と、「環境と文化」の二つの専門分野を持つ。現、クイーンズランド大学客員研究員、ユネスコグローバル研究所(関西)、グローバルコンパクト(関西)、環境NPO ecco(環境文化交流会)代表。
- 主な授業科目
環境倫理、環境と文化、異文化間コミュニケーション

豊田 充崇

TOYODA Michitaka

教育学部 学校教育
准教授



岸和田サテライト担当科目

初等教育特論 A

—いま子どもが生きる教育を—

○研究テーマetc. 情報教育、情報モラル・セキュリティ教育、ICT活用による学力向上効果の検証等

本来の専攻は「情報教育」であり、各教科(「総合」を含む)の情報関連授業のカリキュラム開発をおこなってきました。また、マルチメディアやインターネットを活用した授業実践またはマルチメディア教材の開発・研究、その学習効果の検証等も研究の範疇といえます。

最近では、特に情報モラル(ケータイモラル)・セキュリティに関する独自調査やそれに関する授業研究を進めています。自ら各学校の教室に向いて子どもたちにネットモラルに関する授業を実践することで、子どもたちの実態把握に努めています。

※県内の主な活動としては、平成19年度に第8期きのくに教育協議会委員として、「教育の情報化」に関する検討を重ねてきました。平成20年度は、和歌山県情報化推進協議会「教育の情報化」部会長となり、県内各地の情報化推進にかかわっています。

○主な授業科目

コンピュータ入門A,B、教師のためのICT活用、デジタル教材研究
マルチメディア表現、教師力養成特講

中村 太和

NAKAMURA Taiwa

経済学部 市場環境学科
教授



岸和田サテライト担当科目

環境・自然エネルギー革命

—「食料・エネルギー・水の地域自給」
と環境・防災街づくり—

○研究テーマetc. 循環型社会への道：防災コミュニティから環境コミュニティへ

循環型社会の基本は、地域資源を活用しながら地域内で資源を循環させ、廃棄物を地域内で処理することにある。近い将来予測される東海・東南海・南海大地震においては広範な地域が打撃を受け、外部からの救援なしに長期間孤立することになる。ライフラインを通して外部の資源に依存するシステムが麻痺した時、孤立した地域はそれぞれの地域にある資源を活用してサバイバルせざるをえない。このような「自給」システムすなわちライフスポットは、そのまま循環型社会の基本システムに移行することになるであろう。「防災」を切り口に循環型社会のあり方を考えてみたい。

○主な授業科目

公益事業論

二宮 衆一

NINOMIYA Shuichi

教育学部 附属教育実践総合センター
准教授

岸和田サテライト担当科目

初等教育特論 A

—いま子どもが生きる教育を—

東 悦子

HIGASHI Etsuko

観光学部 地域再生学科
准教授



岸和田サテライト担当科目

地域とグローバル化

ー移民・移住、環境、言語教育ー

○研究テーマetc. 小学校英語教育のあり方&進め方、紀州移民の歴史や生活、留学生との国際交流活動

児童英語教師の経験に基づき、小学校英語教育のあり方や進め方等、広く研究している。県や市の教育委員会や和歌山県国際交流協会の方々と協力しつつ、和歌山県における小学校英語教育や国際理解教育の取組に携わっている。和歌山大学においては、留学生と地域の人々や小・中学生達との国際交流活動をコーディネートしている。また、ここ数年は紀州和歌山の移民に関する研究に取り組んでいる。和歌山は全国有数の移民県で、明治の頃より、ハワイ、北米、カナダ、オーストラリア等、世界各地に多くの移民を輩出している。移民母村と呼ばれる地域の方々と協力しつつ、その歴史を若い世代に伝えてゆくため、移民の歴史に関する記録を残す取組に着手している。

○主な授業科目

世界の日本語 にほんのことは・にほんのふんか1 にほんのことは・にほんのふんか2
海外語学・社会演習 英語 I・II 基礎演習 専門演習

古井 克憲

FURUI Katsunori

教育学部 学校教育
講師

岸和田サテライト担当科目

初等教育特論 A

ーいま子どもが生きる教育をー

○研究テーマetc. 知的障害児・者の地域生活支援に関する質的研究

障害児・者の地域生活支援

主に知的障害児・者の地域における日常生活の実態を明らかにした上で、障害児・者本人を中心に据えた支援のあり方を探索しています。

障害児・者を対象とした質的研究の方法論

言語機能の制約が大きい障害児・者本人を対象に研究・調査する際に必要な参与観察・インタビューといった質的研究の方法論について検討しています。

○主な授業科目

特別支援教育自立支援特論(大学院)
障害児福祉学演習(大学院)

松浦 善満

MATSUURA Yoshimitsu

教育学部 学校教育
教授

岸和田サテライト担当科目

初等教育特論 A

—いま子どもが生きる教育を—

○研究テーマetc. 現代的教育課題の臨床的・調査研究

- | | |
|-------------------|------------------------|
| (1)いじめに関する国内、国外調査 | (2)不登校に関する調査 |
| (3)教師のバーンアウト調査 | (4)「学級崩壊」調査 |
| (5)高校生の生活意識調査 | (6)学童保育に関する調査 |
| (7)スクールボランティア活動研究 | (8)教育における「笑い」の効用に関する研究 |
- 放課後における子どもの社会性育成に関する開発研究

〔概要〕放課後児童プランが実施されて1年が経過するが、果たして地域における学童クラブならびに全児童対策プログラムはどのように機能しているのでしょうか、その実態を明らかにするとともに放課後空間における子どもの社会性育成に関する実効的プログラムの開発研究をめざす。

○主な授業科目

教育実践研究論、現代教職論
教育調査論、教育社会学特論

山崎 由可里

YAMAZAKI Yukari

教育学部 学校教育
教授

岸和田サテライト担当科目

初等教育特論 A

—いま子どもが生きる教育を—

○研究テーマetc. 戦前期治療教育思想の研究 感化教育における障害児問題の展開に関する研究 戦間期社会教育史

日本における戦前期治療教育思想に関する研究。これは、障害児の発達保障のための医療・教育の連携と各々の独自性確立、および障害児問題の社会的解決に結びつく社会事業（福祉）のあり方の原形態を探究する研究。

障害者社会教育研究。これは、学校以外の施設・団体などが果たす教育的機能の具体的解明によって、本来学校教育が担うべき役割の再検討を目的とする研究。

○主な授業科目

障害児教育学特講A、障害児教育概論A、障害児教育学研究法B、障害児教育課程論、
障害児教育上級演習、障害児教育実践研究、ノーマライゼーション、障害者福祉論、発達障害児教育概論、
発達障害児教育特別演習、障害児教育学特論、障害児教育学特別演習、障害児教育学特論、
生涯学習総合研究

吉田 雅章

YOSHIDA Masaaki

経済学部 市場環境学科
准教授



岸和田サテライト担当科目

現代家族生活と民法

—結婚と離婚、そして遺産相続—

○研究テーマetc. 民法の財産法、とりわけ債権法について。法学教育におけるFDの実践

人の経済生活を規律する財産法の中でも、人に対して一定の行為を求める債権についての研究。そして、法学教育におけるFD(ファカルティ・ディベロップメント)。すなわち授業改善、授業研究にも取り組んでいる。

○主な授業科目

民法



和歌山大学 岸和田サテライト

〒596-0014

岸和田市港緑町1-1 岸和田市立「浪切ホール」2F
TEL 072-433-0875

車で……阪神高速湾岸線利用で、大阪市内から岸和田南ICへ約25分、関西国際空港から岸和田南ICへ約10分、岸和田南ICを降りて約1分。

電車で…南海本線「なんば」駅から特急で「岸和田」駅へ約20分(ラピートβ停車駅)。岸和田駅から徒歩15分。

バスで…岸和田市内循環線「ローズバス」をご利用下さい。



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。